

号	年	月	執筆者	題
101	1991	1	木田献一 阿蘇敏文 嶺 尚 金井美彦 荒井 献 今村嗣夫 編集部 阿蘇敏文 権田一正 小坂 仰 神崎恭子 小池健治 金井美彦 長谷川まつ子 佐藤忠彦 小林 明 権田倫子 もりみよこ 長島弘江	兄弟姉妹の祝宴 20周年を記念して また、新しい友との出会い 百人町教会に学び期待すること 「神の民」の歴史とその起源について 『座談会女性神学の構築をめざして』の書評 「100時間断食」を終えて 大嘗祭抗議百時間断食参加者報告 百時間断食参加 百時間断食に参加 講座に参加 水曜日 若い世代に頑張ってもらいたい 火曜日 朝食1回だけ 24時間参加 月曜日に断食 家庭集会日より 『海からの贈り物』A. リンドバーク著、吉田健一訳 ろばのせなか
102	1991	3	木田献一 掛井五郎 神鷹徳治 小池常隆 小林 明 小島, 雨宮道 佐藤忠彦	イエスの系図と5人の女性—フェミニズムの提起する問い(3) 母 映画『バペットの晩餐会』の語る信仰 応答「モンスターとしての技術」ろば99号木田献一氏証詞に対し 山を登り始めてキリスト教徒と男と22歳と卒業と入社 長島, 佐沢, 権田倫, 神崎, 高島, 長谷川, 新谷, 坂百・ろば座談会 ろばのせなか
103	1991	5	村山槐多 木田献一 村椿嘉信 趙 容来 李 浩俊 阿蘇敏文 小島悦子 神崎恭子	いのり わが神はわれひとりの神なり(詩) 針の穴を通るらくだ—差別を克服する道(1) 開かれた教会に—1991年3月3日の説教をもとに 『平和の黙示—旧約聖書の平和思想』木田献一著 私たちのなすべきこと ボールペン 『かげろうの家 女子高生監禁殺人事件』横川他著 ろばのせなか
104	1991	7	金 明植 木田献一 金 景南 小池健治 野村祐之 阿蘇敏文 長谷川まつ子	「貧」 詩集『光の中へ』より 風は思いのままに吹く—差別を克服する道(2) 南北分断の諸問題 石原次郎さんをおくって その不屈の人生を偲ぶ 肝臓移植を体験して 応答 小坂、金井、神崎、阿蘇、木田、野村 ボールペン ろばのせなか
105	1991	9	カロス・トルモン・ジ 木田献一 上田悌嗣 上田美鈴 穂積夏子 神崎恭子 阿蘇敏文 渡辺 恵 小島悦子 朴 聖慈 趙 容来 李 明德 小坂 仰	手を取りあって「ラテンアメリカ詩集より」 女が男を保護するであろう—差別を克服する道(3) 敦賀から東京へ—受洗して 私の生いたちと受洗 自然は人間性を造る—ミンダナオから 女性神学の構築をめざしての書評に対する荒井献氏の反論への ボールペン 『ぼくを探しに』シェル・シルヴァスタイン著、倉橋由美子訳 ろばのせなか 今は恵の時、救いの日である ドイツ統一から見る韓半島問題と日本における南北分断の意味 韓国キリスト教統一運動の概要 南北統一に向けて 私達のなすべき業

号	年	月	執筆者	題
			小池健治 小坂 仰	合同修養会を終わって—総合協議の報告と課題 ろばのせなか
107	1991	11	岡 真史 木田献一 今村嗣夫 富沢孝之 小坂 仰 中野訓枝 阿蘇敏文 金井光代 金井美彦	無題 「ぼくは12歳」より ハガルの救い—差別を克服する道(4) 「朝鮮民族」隷属化の歴史を裁く—韓国人BC級戦犯者訴訟 臓器移植をめぐる諸問題—全的解放を求めて 「沖縄との合同のとらえなおし」を考える 開かれた論争の場に期待—「ろば」を読んで① ボールペン 『みなまた海のこえ』石牟礼道子作、丸木俊・位里絵
108	1992	2	穂積夏子 青井千恵 阿蘇敏文 河本めぐみ 神戸愛読者 笹淵いづみ 上田悌嗣 阿蘇敏文 金井美彦 神崎恭子 佐藤忠彦	ろばのせなか フィリピンミンダナオからの手紙の一節 ミンダナオ島で臓器移植について考えたこと ボールペン 聖書発実践—「ろば」を読んで② 「ろば」を読ませて頂いて③ 部落差別の重荷を共に負う教会を目ざして 『原発ジプシー』堀江邦夫著 アメリカからの謝罪 『民衆物語の神学』安炳茂著、趙容来・桂川潤訳
109	1992	3	D.H. ロルス 木田献一 新実光一郎 安田浩行 木村 亨 篠原睦治 笹淵いづみ 金子啓一 阿蘇敏文 小池健治 居林美智子 大淵康弘 長谷川・神崎	ろばのせなか ろばのせなか 何のためにたたかいたいのか?(詩) 秘儀の保持と現実 ミンダナオ・スタディツアーに参加して 連合王国・アイルランド紀行 私たちの人権回復 「愛」の中の脳死・臓器移植でよいか 差別しない人間へ 「ろば」共同体寸考—ムラ気な読者より ボールペン 日韓関係と南北統一問題のアンケートのお願い 『慰安婦たちの太平洋戦争』山田盟子著 『荊冠の神学』栗林輝夫著
110	1992	6	レオ・ベック 木田献一 李 鶴來 ろば編集委員会 笹淵いづみ 野毛一起 岡田則子 木田献一 大淵康弘 趙 容來 居林美智子 阿蘇敏文 阿蘇敏文 立川亭ポテト もりかずみ いけださちこ 長谷川まつ子 小坂 仰 佐沢勝美	ろばのせなか 『言い表しえぬ個体』木田献一訳人間のイメージ I 秘儀の保持と黙示 —差別を克服する道(7) 「韓国朝鮮人BC級戦犯者」の訴え お詫び 差別しない人間へ 羽生から 良きおとずれ?それとも悪いしらせ? 青学大基督学会「名称訴訟」終結のご報告 創作ダンス「再生」池田聖智子さんのダンスを観て 統一後の旧東ドイツでみる韓半島の統一 『スカートの風—チマパラム』呉善花著 標語「わたしは必ずあなたと共にいる」出エジ3:10 ボールペン 出前寄席 目の不自由な人の前で落語をやって らくごをきいて 15にちはとてもたのしいときをすとせました 私は現在目の不自由な人達の施設で食事作りを… 緊急掲載 ロロイの死に直面して 「ろば」の読者の皆様へお願い 『故障した脳』ナンシー・C・アンドリアセン

号	年	月	執筆者	題
111	1992	7	神崎恭子 掛井五郎 木田献一 姉妹教会委員会 澄田健一郎 安田浩行 阿蘇敏文 小池恵子 大淵康弘 ライナ・マリア・リルケ 長谷川まつ子 金井美彦 青井千恵 小坂 仰 大淵康弘	ろばのせなか 「道香」 ブロンズ 解放をもたらす者—差別を克服する道(8) 「日韓関係と南北統一問題」 アンケートについて 『解放の神学』から見た「ろば」 百人町教会 家庭集会に出席して ボールペン 『アジア経済をどう捉えるか』 渡辺利夫著 『未来をひらく人権』 今村嗣夫・小暮修也篇 『形象詩集』より「秋」 加康義訳 「ろば」編集委員になって思うこと 『言い表しえぬ個体』 レオ・ベック著、木田献一訳 ミンダナオ島〜4世紀も前から環境保護を訴え実践している人々 ロロイの死に直面して—その後 ろばのせなか
112	1992	9	ケネス・ハッペン詩集 木田献一 神田浩史 青木恵美子 金井美彦 坂 敬夫 阿蘇敏文 穂積夏子 バート・カヤン 掛井芙美 ろば編集部 神崎恭子 佐藤忠彦	訂正 『宗教とは君を愛することだ』 石原武訳 自己変革と近代の終焉—差別を克服する道(9) 日本の戦争責任とODA 夏期修養会発題 修養会に参加して 1992年合同修養会 『院内感染』 富家恵海子著 ボールペン ロロイの死を通して フィリピンの解放の神学 芋の神学 夏・アイルランド お詫びと訂正
113	1992	11	ネルーダ 木田献一 阿蘇敏文 木田いづみ 羅 宣貞 青木恵美子 岡田則子 上田悌嗣 小島悦子	ろばのせなか ろばのせなか もしもおれがきみに話すなら『ネルーダ詩集』 『ぶどうと風』 <誠実>から<ほんもの>へ—差別を克服する道(10) 『開発は誰のためか—ミンダナオ島—アポ山地熱発電所建設』 ラテンアメリカ文学の広がり 従軍慰安婦問題 アジア連帯会議に参加して—日本の教会に望む —エイズを考える—差別される側に立つ エイズポスターについての応答から 山食堂体験記—山谷にて ろばのせなか
114	1993	1	尹 東柱 木田献一 崔 永實 ロビン・ギブソン 4名 阿蘇敏文 百人町教会 大淵康弘 尹 東柱 木田いづみ 松浦信平 小池恵子 小坂 仰 ろば編集部	「序詩」 1941・11・20『尹東柱詩集』より尹吹郷訳 「差別」と「解放」の働き—差別を克服する道(11) まずいって仲直りをしなさい 旅で学んだこと 応答 国際化時代の教会の役割 百人町教会郵便振替について 『空と風と星と詩』 尹東柱著 尹吹郷訳 十字架 ラテンアメリカ文学から 「ハンドブック・戦後補償」問われる戦後補償 アジア女性労働者との連帯を求めて ろばのせなか
115	1992	3	金井美彦 青井千恵訳 マリア・オ・ペンソン	お詫びと訂正 ろばのせなか ろばのせなか ミンダナオのモスリムの人々の歌より フィリピン従軍慰安婦の証言

号	年	月	執筆者	題
116	1993	5	イダ ^ダ イ・サ ^サ ギ アガ ^ガ リン・サ ^サ ギ 青井千恵 木田献一 阿蘇敏文 井上輝子 木田献一 長島弘江 大淵康弘 ヤ ^ヤ イサマ	フィリピン従軍慰安婦の聞き取り作業に携わって 真の人間の解放のために 「開発」「援助」 神に従う人 『神々をも殺すのか』 友よ！一癌で逝った友を悼むー プルトニウムと六ヶ所村 「これでよいのか英語教育」高島敦子著 「死刑台から見えた二つの国」内海愛子他著 『アイス語は生きている』ポン・フチ著 詩編第148編5-13
117	1993	7	木田献一 安田浩行 野毛一起 松浦信平 賈 晶淳 権田倫子 阿蘇敏文 木田献一 日本基督教団 神崎恭子	すべてのものの祈りの家 『ユーカラは甦える』ポン＝フチ著 イエスの切れ端 羽生伝道所だより ミンダナオに行つて 日本での1年 蚕室中央教会青年日本訪問記・尹日鉉、朴潤貞、金南听 『水と緑と土』富山和子著 ボールペン 『掛井五郎版画作品集1984—91』 日本のプルトニウム政策に反対する声明 ろばのせなか インディオ・黒人・民衆の抵抗の五百年 詩 ミカ書5:1-5
118	1993	9	木田献一 小池健治 榊原めぐみ 小林祥人 今村嗣夫 増田 滋 岩田雅一 岡田則子 神崎恭子 阿蘇敏文 佐藤忠彦	彼こそ、まさしく平和—国際先住民族年に応えて② 政教分離違反の皇太子結婚式—厳しい批判の持続を 私の6月9日 「合祀」いやです“中谷康子さんの良心の闘い”自衛官合祀・・・ 『うれしいような、悲しいような』出版に寄せて 「聖霊の賜物」使徒言行録 2章1-42節 六ヶ所村から 再処理工場、遂に着工 スリランカ 血を流す緑の真珠 『銅色の女の娘たち』アン・キャメロン著 蚕室中央教会・百人町教会合同修養会のお知らせ ボールペン ろばのせなか 「祖国の星」『高根詩集』より金学鉉訳
119	1993	11	木田献一 小池芙佐子 西村亮輔 石田美智代 金 振愛	燃え尽きない柴 イザヤ書53:3-8 今日のアジアにおける両教会の役割—従軍慰安婦の証言に学ぶ 統一のヨベルの年に向かう韓国の行進 朝鮮半島の統一と南北問題 総合討論より 「七三一部隊展」と「8.15集会」に参加して 二風谷フォーラム93で考えたこと 旧約の学びに至る個人史—向島で生まれて ボールペン ろばのせなか 前号の訂正 とうもろこしの人間たち 先住民族とイスラエル—国際先住民族年に応えて③ 元BC級戦犯裁判傍聴記 元BC級戦犯裁判傍聴記 『私の名はリゴベルタ・メンチュウ』エリザベス・ブルゴス著 韓国に於ける外国人不法労働者の人権問題

号	年	月	執筆者	題
			大淵康弘 マリア・リンバガ 阿蘇敏文 神崎恭子	ネグロス交流ツアー体験記—バナナの取り組みについて考える 私が歩んだ道 ミンダナオの女性の現実 ボールペン ろばのせなか 前号の訂正
120	1994	1	フクロウ 木田献一 丹波二三夫 田中きよみ 伊賀信子 宇佐タミエ 増田 滋 小森謙子 小林祥人 池田聖智子 渡辺英俊 阿蘇敏文 大淵康弘	『ユウーカラ鑑賞』知里真志保、小田邦雄著 異邦人のガリラヤ 「神の声」に聞く 百人町教会の礼拝に出席して 百人町教会の礼拝に出席して 百人町教会の礼拝に出席して 『現場の神学 生きる場からの発言』阿蘇敏文著 『マイ・プレイス』 よそ者の町から 新たな出発 移住(外国人)労働者を見る目 ボールペン 表紙の語句説明 ろばのせなか 郵便振替用紙について 前号の訂正
121	1994	3	金関寿夫 木田献一 小森謙子 青木恵美子 上田悌嗣 米沢 紀 長谷川まつ子 阿蘇敏文 阿蘇敏文 金井美彦	魔法のことば(エスキモー族の詩)『魔法としての言葉』 宗教と非暴力の世界—国際先住民族年に応えて⑤ メキシコにて—チアパスの蜂起 ジャパニーズ・フィリピーノチルドレン 内は外を必要とし・・・—やま食堂体験記 『いみのあること』—70歳を過ぎてのボランティア 女性の人権アジア法廷見聞記 アジア・太平洋森林環境保護会議 ボールペン ろばのせなか 前号の訂正
122	1994	6	阿蘇敏文 斐 宣恵 中谷康子 きむらまりこ 小林祥人 小池恵子 高島敦子	教会の自己イメージを超えて ナオミの場合、母の場合—外国人として生きる 再び合祀とり下げを求めて ポリティカリイコレクトということ 権田一正さんと社会運動 『天皇の逝く国で』ノーマン・フィールド著 ろばのせなか
123	1994	10	阿蘇敏文 高里鈴代 権田倫子 ヨベルの年委員会 菅谷 博 河部 薫 町田龍次 小林祥人 MM	新しい村を求めて 軍隊は何をしたか 百人町と北支区 神の正義をもってなし遂げるヨベルの年 資本主義、農業、食べ物、そして私の仕事 合同修養会報告 『カンター教授のジレンマ』カール・ジェシン著、中森道夫訳 青井千恵さんの「謙虚さ」 ろばのせなか
124	1994	12	阿蘇敏文 吉松 繁 金井美彦 雨宮道子 小池恵子 小林祥人	日比混血児を抱くイエス 1メートル20センチの十字架アウシュビッツ絶滅収容所の子ども 「沖縄」から考える 百人町教会の存在を問う・夏期集会報告 主の前で踊る 礼拝順序 新実光一郎さんと「流される生き方」

号	年	月	執筆者	題
			編集部	お詫びと訂正
			安田浩行	『資本主義とは何だろうか』 リウス著
			KK	ろばのせなか
125	1995	3	三浦 榮	生きなくてはならない
			阿蘇敏文	アジアの反核の現状 反核アジアフォーラム
			久保祐輔	百人町教会と私
			前中、居林	韓国・朝鮮人BC級戦犯者裁判を傍聴して
			野村祐之	・・・て、名付けて
			阿蘇敏文	小坂 仰さん
			金井美彦	小坂君のために
			長谷川まつ子	ありがとう 小坂君
			新実光一郎	小坂さんの思い出
				仰にささげる・ミンダナオ・ミッション・センター
			小林祥人	上田悌嗣さん・美鈴さんの「長い仕事」
			李 昊俊	アリラン
			EM・MI	ろばのせなか
126	1995	6	阿蘇敏文	変革への勇氣
			片平冽彦	薬害エイズ被害者への償いと薬害根絶を求めて
			星野ゆうこ	里子として思うこと
			青井千恵	日本のODAとアジア女性
			金井よしひこ	市議会議員に出馬して
			小林祥人	池田聖智子さんの「舞う言葉」
			川上秀正	死者が語る戦争
			MM	ろばのせなか
127	1995	9	朴 聖俊	天の国の学習
			趙 容來	東アジアの戦後50年 ヨベルの年・教会
			朴 根好	日本のファッションを飾るメイド・イン東南アジア
			金井美彦	戦後日本の崩壊と私たちの課題
			阿蘇敏文	合同修養会報告
			大庭昭博	先の者が後になり
			小林祥人	雨宮道子さんの「真剣ないい加減」
			渡辺 恵	『教えられなかった戦争』映像文化協会
			T.S	ろばのせなか
128	1995	12	阿蘇敏文	収穫感謝祭
			アグネス	私になぜ日本キリスト教団百人町教会に参加したか
			菅谷 博	アメリカ農業ちょっと拝見
			趙 容來	『蚕室中央教会の過去と現在、そして今後の歩む・・・』について
			長谷川まつ子	最後の傍聴にならなかった
			仲渡尚史	神戸・長田区南駒栄公園の今
			小林祥人	安田浩行さんの「月並みな出発点」
			小池芙佐子	アイデンティティーへの侵略今村嗣夫・小暮修也編
			K・K	ろばのせなか
129	1996	3	金井美彦	宣教の終わりと単独性の回復
			野毛一起	「帰ってこない羊」について
			小池健治	宗教法人法の「改正」について
			阿蘇敏文	荒野の旅 再認識のスタート
			小林祥人	金井美彦さんの「気楽な自由と自由への責任」
			新谷照子	『僕たちがいま一番伝えたいこと』まんたんMUSIC編
			E.M	ろばのせなか
130	1996	7	雨宮 隆	現場感覚
			朴 聖慈	イエスの家族観 マルコ3:13-35 ルカ11:27-28
			岡田則子	「万人祭司」という思想
			小林祥人	松浦信平さんの「几帳面な自由」
			上田悌嗣	『ナヌムの家』を観て
			権田一正	ドキュメント『現代訴訟』高橋利明・塚原治編

号	年	月	執筆者	題
			E..K	ろばのせなか
131	1996	9	増田 滋 趙 容來 小林祥人 小林 明 賈 晶淳	私の憂うつ 悔い改めの生を指向する共同体のために 石原ASO道子さんの「お食事は何にしましょうか？」 『旧約聖書の預言と黙示』木田献一著
132	1996	12	深津容伸 内海愛子 阿蘇敏文 小池恵子 安田浩行 小林祥人 鈴木美和 小林 明	ろばのせなか 宣教について 韓国・朝鮮人BC級戦犯者の国家補償等請求事件の判決を前に 元BC級戦犯の皆様申し訳ございません インドネシア・スタディツアーに参加して 青年会活動「竜ヶ崎・甲府」報告 前中栄子さん「歌」を受け止めながら生きること 『女たちがつくるアジア』松井やより著
133	1997	5	阿蘇敏文 賈 晶淳 東海林勤 権田倫子 長谷川まつ子 小林 明 小林祥人	ろばのせなか 畑の方から 私が教えられて来た教会 国境や国籍を越えたキリストにある交わりの喜び 古い葡萄酒と新しい皮袋 『おじいさんのマフラー』ウルズラ・フックス作 増田滋氏と(ゆかいな仲間たち)「Odd Fellows」
134	1997	7	賈 晶淳 柳 顕先 高島敦子 石原ASO道子 阿蘇敏文 赤石契月 金 南听 鈴木美和 赤石契月 北 博 高島敦子	ろばのせなか 帰れぬエデンへ 生きて躍動する歌 阿蘇牧師ご夫妻に感謝する会 東京での生活 牧師を育てる教会 セクシャリティについて(1) 日本に来て感じること フィリピン便り(1) 染谷武男さん 『向日葵の枢』柳美里著
135	1997	10	笹淵昭平 笹淵いづみ 朴 聖慈 小池恵子 李 昊俊 赤石契月 赤石契月 渡辺 恵 北 博 古野明美	ろばのせなか 隣人の苦しみ 自分のように愛するとは 「愛」の物語 移住労働者(外国人労働者)と日本 韓国に於ける外国人労働者問題の実態 セクシャリティについて(2) 蚕室(チャムシル)中央教会の人々 第15回合同修養会を終えて 台湾という名のヤヌス戴國輝著
136	1997	12	阿蘇敏文 権田倫子 金 南听 赤石契月 賈 晶淳 北 博 鈴木美和 赤石契月 松田幸世 北 博	ろばのせなか フィリピンー97年9月 沖縄を旅して 沖縄への旅 沖縄交流キャンプに参加して フィリピン ミンダナオで考えたこと フィリピン便り(2) 朴美卿(パク・ミギョン)さん 『森と魚と激戦地』清水靖子著
137	1998	3	賈 晶淳 百田ローズマリー 裴 宣恵	ろばのせなか 歴史の荒波の中へ 自己同一性を求めて 恨を越えて生きる

号	年	月	執筆者	題
			北 博	ホセア書とゴメル <small>の</small> 沈黙
			染谷武男	Aさんとの関わりから
			清水靖子	こだま一読者より-
			成島信夫	こだま一読者より-
			高島敦子	ある“古典派”教師のつぶやき
			古野明美	韓国・朝鮮人BC級戦犯者の国家補償請求裁判についてのお知らせ
			賈 晶淳	判決は5月27日(水)午後3時関心のある方東京高裁へ
			権田一正	聖書研究会
			渡辺 恵	『日本のお父さんに会いたい』松井やより編
			古野明美	ろばのせなか
138	1998	7	染谷武男	私の目線(1)十字架の血
			清水靖子	パプアニューギニアの森と私たちの暮らし
			ジュアキン・モンテイロ	宗教対話とエコロジー批判
			小林恵理	主婦とキレル子どもたち
				ろば編集委員会からのお知らせ
				掲示板
			竹内憲一	よろしく
			新井俊子	よろしく
			小林祥人	ドイツ教会の最初の印象
			上田美鈴	準看における1週間の出来事
			青山紀子	ネコ紹介
			北 博	ろばのせなか
139	1998	10	高瀬礼子	私の目線(2)新しいろばの家で
			金 倍永	経済の問題—勤務現場を中心に
			金 巨星	文化の変化と教会の役割
			北 博	教会に「役割」はあるか?
			小林 明	日韓の映画と社会性
			佐沢文子	初めての韓国
			小池芙佐子	韓国での思い出
			小池健治	立法での救済を促した
			黄 智禧	もう3回目ですね
				ろば編集委員会からのお知らせ
			C. I.	小林恵理様
			石田美智代	リニューアルろば、興味深く拝見しました。
			北 博	『人間イエスをめぐって』木田献一他著
			北 博	『天皇制仏教批判』ジュアキン・モンテイロ著
			北 博	『森の暮らしの記憶』清水靖子著
			北 博	『イザヤ書40-66章』P. Dハンソン著、北博訳
140	1998	12	菅谷 博	私の目線(3)農薬について
			高島敦子	英語帝国主義批判(1)
			阿蘇敏文	あなたは、教会に過大な期待をしているのよ
			山本俊正	債務を帳消しにして新しい出発を
			赤石契月	いわゆる「性転換手術」について
			百田ローズマリー	あるニューハーフの手記
				ヨベル(jubilee)の年とは
			趙 容來	21世紀韓日新時代宣言の背景と課題
			権田倫子	終期集会報告 晴天に恵まれた秋期集会でした
			河上 明	よろしく
			雨宮潤子	季刊『地球の一と』創刊号
			叡 智慶	『黙示文学の探求』k・コッホ著、北博訳
			小林 明	『教えられなかった戦争 沖縄編』
				ろば編集委員会からのお知らせ
				姉妹教会委員会より
			鶴谷忠男	こだま一読者より
			小林恵理	ろばのせなか

号	年	月	執筆者	題
141	1999	5	もりみよこ 賈 晶淳 高岩 仁 高島敦子 ナン・ハドソン 久保祐輔 染谷武男 丹波清治 竹内憲一 竹内憲一	私の目線(4)寅次郎と私の1週間 北朝鮮は今？ 平和を創り出すため 英語帝国主義批判(2) 百人町教会のキリストにある愛する姉妹達兄弟達へ フィリピンの村調査を終えて 『聖なる魂』森田ゆり共著 こだま ろばのせなか ろばのしっぽ
142	1999	8	上田悌嗣 百田ローズマリー 編集部 成田晶子 金 振愛 小池恵子 小島悦子 笹淵いづみ 北 博 アガリン・サラ・長瀬 セサル・バイ・サント S. K 小林 明 百田ローズマリー 太田澄子	私の目線(5)労組の中で学んだこと オオサキ・グループ 共に歩む20年 共に歩む20年 華麗なるあの時 進展しない韓国語学習 蚕室中央教会のパワーにふれた修養会 平和をつくりだす人 愛することと闘うこと 私の印象 百人町教会に加わって 『社会倫理と霊性』大庭昭博著 ろば編集委員会からのお知らせ 東京演劇「ブレヒト誕生100年」 ろばのせなか こだまー読者より
143	1999	12	趙 容来 木田献一 居林美智子 朴 聖慈 坂百合子 小島徳子 斉藤公子 金 倍永 金井瑞紀 小池健治 賈 晶淳 山本将信 長島弘江	私の目線(6)民衆の連帯しかない 民衆のための救い 異邦人を照らす光 姉妹教会20周年記念礼拝・祝会報告 小さな者たちの連帯何と大きな祝福か 20周年記念礼拝に参加して 音楽を通して感じたこと 素敵な6日間をありがとう これからもこの祝祭の熱気のように 思い出に残った韓国旅行 姉妹教会20周年記念礼拝・祝会報告参加者氏名 今こそ平和への道を 彼らは群衆を恐れた・マルコ9:22-37 図書案内『東アジアの平和とキリスト教』 ろばのせなか
144	2000	4	高瀬浩之 懇談会 金井美彦 井上智子 藤村 洋 穂積夏子 高島敦子 裴 宣恵 小林 明 古野明美	私の目線(7)これまでとこれから 今後の教会のあり方について 井上さんのこと 母からの贈り物 故井上輝子さんの略歴 『東アジアの平和とキリスト教』を読んで 『東アジアの平和とキリスト教』を読んで 英語帝国主義批判ー太田澄子への返事 「歴史における啓示の理解」を聞いて 『日の丸・君が代の戦後史』田中伸尚著 ろばのせなか
145	2000	7	小林 明 朴 栄珠 西川重則 鄭 聖泰	私の目線(8)私が農村伝道神学校に入った訳 三人の母親 主にあって、いまを生きる 十四年ぶりの日本生活

号	年	月	執筆者	題
			北 博 阿蘇敏文 匿名 編集部	第18回姉妹教会合同修養会のおさそい 愛することと闘うこと—バヤタス編 日比宣教委員会発足のお知らせ 黄色いクロッカス ろばのせなか
146	2000	10	朴 美郷 賈 晶淳 鄭 救恩 小林 明 榎本征子 アガリン・ヲ・長瀬 朴 栄珠	私の目線(9)未来を知るといふことは？ アジアに生きる 「脱北者を思うヨベルの年の連帯」の結成について 「新しい世紀に向けての宣教の課題」報告 横須賀米軍基地見学報告 フィリピンのイスラム教とキリスト教 初めての日本訪問記 第18回日韓合同修養会 『石橋湛山と小国主義』井出孫六著 万里の長城であったこと 差別され続ける島を愛して 百人町教会30周年記念礼拝 ろばのせなか
147	2001	2	佐沢勝美 河上 明 掛井五郎 私と教会の歩み	私の目線(10)個々人の尊厳の手立て 「歌の中の歌」創立30周年特集 佐藤忠彦、新谷、藤田幸、古野、藤田龍哉、半沢慎介 井上智恵子、坂真理子、小池信治、浅木今日子 創立30周年記念礼拝の様 墓前礼拝に参列して 沖縄から学んだこと 近況報告 図書紹介『一匹の羊の教え』『メシアは夢か幻か』 ろばのせなか
148	2001	4	小池佐枝子 赤尾泰子 松浦真理子 佐々木迪淳 もりみよ子 斐 宣恵 池田聖智子 岩井 要 前中榮子 小林 明 居林美智子 俊野陽子 雨宮道子 小池佐枝子 榎本往子 故岡川誠二	私の目線(11)身体を通して学んだ事 雲のごとき証人の群れに囲まれて 世紀をはさんだ礼拝 『二七度線の南から』の沖縄の教会 家庭集会のこの10年を振り返って 聖書研究会と私 松本大本宮壕見学記 『松本大本宮』和田登著 ろばのせなか 過去の「ろば」から岡川さんの文章を掲載
149	2001	8	青木恵美子 賈 晶淳 北 博 空閑厚樹 村山なほみ 阿蘇道子 編集部記	私の目線(12)タイに移りすむことになりました 「立ててはならぬ十字架」 愛することと闘うこと—民衆の力第二部 「キリスト教以前のイエス」を探して 共存か、分断か？—あるユダヤ人青年との出会い 『不思議の国からの訪問者』赤尾泰子著 ろばのせなか
150	2001	10	長谷川まつ子 趙 容來 李 市峻 居林美智子 権田倫子 雨宮道子 今村嗣夫 笹淵いづみ 坂 敬夫	私の目線(13)シルクロードを旅して 歴史歪曲をどう見るべきか—共生の道を目指して 日本の歴史教科書の歪曲と日本の正体性 第19回日韓合同修養会に参加して 2001年の夏合同修養会発題前後 教科書採択ってどうなってるの？ 日本の歴史教科書を裁く 韓国国会議員の法廷闘争をめぐって 「合同のとらえなおし」と私 2001年8月15日に体験したこと 百人町教会沖縄集会案内

号	年	月	執筆者	題
			久保祐輔 賈 熙俊 榎本往子	ヨルダン日記 『ハリーポッター』を読んで ろばのせなか
151	2001	12	阿蘇敏文 賈 晶淳 空闲厚樹 久保祐輔 阿蘇道子 古野明美	私の目線(14)アジアから次の文明へ あるならず者(革命家)への想い・サムエル下20:1-20 「内と」外から見たパレスチナ ヨルダン(外)から見たパレスチナ 9・11以後 ろばのせなか
152	2002	2	もりみよこ 賈 晶淳 阿蘇敏文 坂敬夫 青井千恵 新谷照子 前中榮子 朴 美卿 小池恵子 北 リタ 渡辺 恵 小林祥人 神鷹徳治 坂百合子 小林 明	行けました 沖縄へ 沖縄集会特集 聖書を書き続ける人々・エレミヤ書36:1-8 平和の礎 漆黒の闇「ガマ」の中で 「米軍人・軍属による事件被害者の会」喜屋武さんの話を伺って 沖縄集会に参加して 「さとうきび畑」の歌への思い 辺野古での思い出 聖書を書き続ける人々 沖縄への旅 以上沖縄特集 「ぼくを探しに」－英国放浪記 異国の故郷と故郷の異国 老子と天皇制 『笑いの治癒力』ノーマン・カズンズ著 ろばのせなか
153	2002	7	佐沢勝美 賈 晶淳 榎本征子 早川文野 渡辺 恵 根津公子 島 耕一 姉妹教会委員会 百田ローズマリー め	私の目線(15)つれづれなるままに 個への呼びかけ・マルコによる福音書3:31-35 田植え祭りに参加して 「バーン サバイ」を立ち上げました 読書紹介&活動紹介 「指導力不足等教員」攻撃に勝利 『「神の名」と人間の主体』を読んで・木田猷一著 第20回、日韓合同修養会開催のお知らせ 『総ヒバクの危機』原子力行政を問い直す会編 ろばのせなか
154	2002	12	河上 明 権田倫子 土田愛子 姜 福姫 金 倍永 菅谷 博 ナン・ハドソン 賈 晶淳 土田愛子 古野明美	私の目線(16) 第20回日韓合同修養会を終えて－反省と展望 第20回日韓合同修養会日程 クリスマス礼拝案内 「日本民芸館コース」報告 第20回日韓合同修養会に参加して 20年かかって行くことができた遠くて近い日本 「靖国コース」報告 以上合同修養会特集 キングストーンからこんにちは 広島爆心地からの思い 『人間復興の経済をめざして』城山・内橋対論集 ろばのせなか
155	2003	4	石田美智代 賈 晶淳 きくちゆみ 北支区総会 李 昇烈 チャル・マジルトン 渡辺 恵 長島弘江 小林 明	私の目線(17)半生記 戦争と黙示・マルコによる福音書13:3-13 劣化ウランのことをアメリカ人に知ってもらおう イラク軍事攻撃の即時停止を求める緊急決議 広場と客 ブッシュの聖書 韓国家庭料理“まな”へ、ようこそ。 『戦争中毒』ジョエル著 ろばのせなか

号	年	月	執筆者	題
156	2003	6	小林祥人 賈 晶淳 空閑厚樹 斉藤留美子 笹淵いづみ 渡辺重夫 あそ	私の目線(18)イエスよ、なにゆえ詩編を？ ろばと戦車・マルコによる福音書11:1-11 わたしはわたし・出エジプト記3:14 可能性を探し求める旅 沖縄は、いまーイラク攻撃に関連して 『エイジングと公共性』渋谷望・空閑厚樹編著 ろばのせなか
157	2003	9	権田一正 小林祥人 坂 敬夫 金 俊範 矢沢幸吉 青木恵美子 神鷹徳治 小池恵子	私の目線(19)楽しく生きるために ナザレのイエスと教会・ヨハネ18:1-11 姉妹教会との交わりを通して学んだもの 勝ち通した者余裕 ハレルヤ、感謝します わたしはある 『神の王国』木田献一・北博訳 ろばのせなか 百人町教会秋季集会のご案内
158	2003	12	雨宮道子 賈 晶淳 渡辺 恵 久保祐輔 阿蘇敏文 小林 明 阿蘇敏文 阿蘇・久保著 土田	私の目線(20)個を大切にしたい 友人の死とWTO世界会議・コヘレト4:1-3 東長崎ウエスレー教会との合同礼拝 ブータンの日々 アジア・太平洋移住労働者会議 映画評「ボーリング・フォ・コロンバイン」 『Selgsimilar Processes』前島信著 『Between Livelihood Security and Capital Accumulation』 ろばのせなか
159	2004	3	榎本征子 賈 晶淳 松浦信平 小林 明 権田一正 小池恵子 前中榮子 よしと	私の目線(21)アジアの留学生と共に 寄留の民を愛しなさいー難民・レビ記19:33-34 まちの法律事務所から 第2回ソウル老会と北支区との宣教協議会に参加 小泉首相靖国参拝違憲アジア訴訟 クルド問題ートルコの場合 『唱歌という奇跡 十二の物語 讃美歌と近代化の間で』 ろばのせなか
160	2004	6	長島弘江 賈 晶淳 赤尾泰子 小林祥人 高瀬礼子 青木恵美子 小池佐枝子 阿蘇敏文	私の目線(22)自ら考える キリストの残された受難・コロサイ1:24-29 受難週の夕食会 たくさんの聖霊・たくさんの考える事 今夜泊まる場所がない子とこれから帰る家を求める母のこと 正義の樅の木・イザヤ書61:1-4 『新月の夜が明けるとき』の著者を囲んで ろばのせなか
161	2004	9	百田ローズマリー 賈 晶淳 小林祥人 阿蘇敏文 小池常隆 土田愛子 阿蘇Ishihara道子 小池恵・小林祥	私の目線(23)アンチ・オリンピック派 歴史の未完結と夢を見る人 夏期集会報告 日本で共に生きる ブータンとタイに友人を訪ねて 台湾で考えたこと 「無言館」を訪ねて 映画紹介 映画『少女ヘジャル』と北支区学習会 ろばのせなか
162	2004	12	坂 敬夫 小林祥人 趙 博 趙 容來 榎本征子 岩井 要	私の目線(24)共に生きるために 合同修養会「在日」を考える 主題講演「在日」を考える 発題Ⅰ「在日」を考えるということ 発題Ⅱ共に生きるために 妻民子の足跡

号	年	月	執筆者	題
			掛井芙美	民子さん
			小池佐枝子	岩井民子さんを偲んで
			居林美智子	『在日』姜尚中著、『ぼくは在日関西人』趙博著
			土田愛子	ろばのせなか
163	2005	3	裴 宣恵	私の目線 (25) あの人はこちらに！
			賈 晶淳	権力と創造神話
			小林 明	15年間で身も心も成長した！？
			百田ローズマリー	魚住決定
			長田浩昭	宗教者と民衆の反原発運動
			長島弘江	図書紹介『不思議の国からの訪問者Ⅱ』赤尾他著
			古野明美	ろばのせなか
			小林祥人	ろばのせなか
164	2005	6	北 博	私の目線 (26) 真のエクレシアを目指して
			賈 晶淳	神の言葉は荒野に
			高島紗綾	ねがいごと インタビュー・文
			阿蘇敏文	琉球再訪
			坂百合子	浅川伯教・巧兄弟資料館を訪ねて
			阿蘇敏文	日本市民は再び前に進みます 韓国「国民日報」特別寄稿要旨
			高島紗綾	ろばのせなか
			古野明美	ろばのせなか
165	2005	9	金 明洙	私の目線 (27) 思母曲
			雨宮 剛	分かち合い、共に生きる
			石原ASO道子	戦後60年 「戦後60年と憲法と私」
			小島悦子	戦後60年間の教育
			阿蘇敏文	日本キリスト教団の戦後の流れ
			菅谷 博	戦後60年の日本農業
			賈 晶淳	戦後60年の日韓関係と今後の課題
			夏季集会特集	
			坂 敬夫	これからの歩みに願うこと
			雨宮道子	甲骨文字が書きたい
			権田一正	今、最も興味のあること
			榎本征子	最近やっていること
			菅谷 博	今私の興味あること
			権田倫子	私の興味は何？
			居林美智子	白毫寺のこと
			土田愛子	父からの贈りもの
			石原ASO道子	道を歩くのが好き
			崔 恵英	日本での生活
			熊谷泰世	今、私が関心すること
			阿蘇敏文	難民支援
			朴 美卿	ありのまま受け入れる
			小林祥人	私に関心あること
			賈 熙俊	今年も日韓青少年キャンプに行きました
			菅谷 博	図書紹介『象徴天皇制と人権を考える』今村嗣夫著
			小林祥人	ろばのせなか
			小池恵子	ろばのせなか
166	2005	12	長瀬アガリン	私の目線 (28) 共に生きるとは一日本で暮らすフィリピン人の取組
			笹淵昭平	沖縄に住んで、深く戦争の罪悪を思う
				写真で見る百人町教会35年の試み
			小池常隆	阿蘇著『現場からの道』出版記念会及び著書の紹介
			小林祥人	東アジアにおける日韓教会の役割
			雨宮道子	図書紹介『考える人を育てる言語教育』高島敦子著
			長島弘江	ろばのせなか
167	2006	3	阿蘇敏文	私の目線 (29) 高齢化と共に生産的に
			坂 敬夫	東アジアの平和と日本国憲法

号	年	月	執筆者	題
			兪 鮮敬	東北アジアの平和と日本国憲法
			空閑厚樹	三つのキーワードから見た合同修養会
			小林祥人	蚕室との新しい出会い
			吉田日南子	洗礼式にあたって考えることなど
			小池恵子	図書紹介『9条と日中韓』加藤周一著
			高島紗綾	ろばのせなか
168	2006	6	小島悦子	私の目線(30)言葉のない子に寄り添って
			賈 晶淳	あなたはどうか考えますか
			小池健治	共謀罪新設の危険性
			韓 良充	お父さん、元気出してください!
			小池常隆	大庭昭博牧師追悼
			石原ASO道子	図書紹介『ことばは光1』太田道子著
			居林美智子	ろばのせなか
			小林祥人	ろばのせなか
169	2006	9	土田愛子	私の目線(31)高麗博物館にかかわって
			賈 晶淳	蒔かぬ種は生えぬ
			小井沼眞樹子	道端からの叫び
			賈 熙俊	3回目の日韓青少年合同修養会
			阿蘇敏文	一フィリピン・アロヨ政権下の政治的暗殺
			榎本征子	図書紹介『私の人生、これなに?』雨宮剛他編著
			古野明美	ろばのせなか
170	2006	12	金 美榮	私の目線(32)サンタは来ない
			朴 美卿	百人町教会と私 信仰の源 ルカによる福音書
			黒河内信	原子力行政を問い直す宗教者の会世話人会女川集会
			雨宮道子	秋季集会「これからの百人町教会」を考える
			小池常隆	百人町教会発足時のこと
			金 明洙	韓国語聖書研究会のお知らせ
			小池恵子	礼拝の場所が移りました
			金 凡洙	図書紹介『憲法九条を世界遺産に』太田・中沢著
			金 明洙	ろばのせなか
			阿蘇敏文	ろばのせなか
171	2007	3	青井千恵	私の目線(33)すべて備えられている
			賈 晶淳	平和への道・イザヤ書32:15-20
			小林祥人	「ろば」と百人町教会と私
			佐沢勝美	タイ・カンボジアスタディツアー報告
			権田一正	バーンサバイを訪ねて
			前中榮子	カンボジアにて
			李 昇烈	百人町教会と私 2002年の出会い
			空閑 幸	新人ソーシャルワーカーのある一日
			阿蘇敏文	図書紹介『鉄条網に咲いたツルバラ』
			阿蘇敏文	ろばのせなか
172	2007	6	古野明美	私の目線(34)今、黙ってられないこと
			権田一正	百人町・蚕室中央教会第24回合同修養会
			菅谷 博	4月24日(火)-25日(水)
			小池常隆	4月26日(木)-27日(金)
			小池常隆	4月28日(土)、29日朝(日)朴榮珠氏の証詞、応答、原爆の図
			井上明子	午後の討論、第1の別れ、交流会、最期の朝、後記
			古野明美	足尾銅山、富弘美術館を訪ねて
			小池恵子	ろばのせなか
			小池恵子	ろばのせなか
173	2007	9	権田倫子	私の目線(35)手を翳してジッと見る
			賈 晶淳	キリストと共に食卓を囲む共同体
			古野明美	60歳からの感じる旅
			小池常隆	図書紹介 阿蘇敏文著『げんばからの道』の英訳
			阿蘇敏文	『知識無用の芸術鑑賞』川崎昌平著 幻冬社新書

号	年	月	執筆者	題
			井上明子	ろばのせなか
			居林美智子	ろばのせなか
174	2007	12	石原崇子	私の目線(36)穴あき銭のネックレス
			賈 晶淳	荒れ野に花を咲かせること イザヤ書35:1-10
			笹淵昭平	約束の地を求めて歩む百人町教会の過去、未来
			菅谷 博	百人町教会2007年秋季集会
			小池常隆	笹淵牧師の講演への応答と懇談会で話されたこと
			佐藤忠彦	聖書は雑巾
			阿蘇敏文	第4回日韓宣教協議会報告—旧友たちとの再会の旅
			韓国基長総会	神社参拝ほか日帝への協力に対する罪責告白宣言文
			朴 榮珠	滞在日誌抄 10月31日-11月28日
			小島悦子	映画紹介『もし保険制度がなかったら』
			小池常隆	ろばのせなか
175	2008	3	赤尾泰子	私の目線(37)もう一人の私
			賈 晶淳	初心・消えない火と渴かない水
			池 寛植	ありがとう百人町教会
			裊 宣恵	辛くて優しいボストン
			木田みな子	池田聖智子さんのダンスを観て
			小池常隆	ダバオ日比NCC宣教協議会報告
			阿蘇敏文	ろばのせなか
176	2008	6	金 知涓	私の目線(38)息子の日本小学校の生活
			賈 晶淳	荒れ野の集会・使徒言行録2:1-13
			岡田則子	「今」・「ここ」を生きる—永遠の生命
			柳 泳秀	沖縄旅行から得たもの
			金 東赫	沖縄でのつらい人生
			空閑 幸	『反貧困—「すべり台社会」からの脱出』湯浅誠著
			古野明美	ろばのせなか
			小池恵子	ろばのせなか
177	2008	9	石原ASO道子	私の目線(39)堆肥となる
			賈 晶淳	ガリラヤと夢
			居林美智子	夏季集会報告 ワークショップ「境界の教会」
			榎本征子	新しい礼拝場所について
			井上明子	岡田則子さんと共に歩む会発足
			小池恵子	第5回日韓青少年合同修養会開催
				第25回日韓合同修養会のお知らせ
			阿蘇敏文	図書紹介『フードバンクという挑戦』大原悦子著
			居林美智子	ろばのせなか
			井上明子	ろばのせなか
178	2008	12	岩井 要	私の目線(40)御手の内にあつた半生
			賈 晶淳	日々新たに・陶冶 コリントの信徒への手紙Ⅱ
			雨宮道子	合同修養会報告 笑顔の再会—25回目の合同修養会
			小島悦子	合同修養会報告 第25回合同修養会に参加して
			今村嗣夫	良心の錯誤
			渡邊 恵	遠い未来のために近いあしたから
			阿蘇敏文	中国の植林活動のための視察旅行
				礼拝場所が変わりました
			空閑厚樹	図書紹介『危険でも動かす原発』内藤新吾著
			古野明美	ろばのせなか
179	2009	3	尾池 幸	私の目線(41)ほろびの町
			賈 晶淳	地を継ぐ者・詩編37
			賈 熙俊	百人町教会と僕
			小井沼眞樹子	聖書を読みなおす—ブラジルでの取り組み
			井上明子	図書紹介『わたしたち里親家』坂本洋子編集
			居林美智子	ろばのせなか
180	2009	6	岡田則子	私の目線(42)スリランカ内戦の「終焉」

号	年	月	執筆者	題
			賈 晶淳	二デナリオンの責任・ルカ10:29-37
			小林 明	百人町教会のディアスポラ マルコ9:42-50
			阿蘇道子	受難週家庭集会
			小池恵子	イースター礼拝—JFC青年たちと共に
			神鷹徳治	真贋を見極めるめと心
			居林美智子	ろばのせなか
			小池恵子	ろばのせなか
181	2009	9	小池健治	私の目線(43)原爆の体験と核廃絶運動
			賈 晶淳	応答
			小池恵子	証詞「応答」に対する応答
			佐沢勝美	「初孫お産どん」アメリカ篇
			空閑厚樹	「無知は罪」について
			榎本征子	図書紹介『アンのゆりかご』村岡恵理著
			古野明美	ろばのせなか
			榎本征子	ろばのせなか
182	2009	12	小池佐枝子	私の目線(44)仕事、いえボランティアです
			岩井 要	上州のキリスト教
			裊 宣恵	秋季集会報告
			吉田カナコ	秋季集会に参加して
			趙 憲正	福音の力 コリント手紙1章18-25 訳小池恵子
				応答から一部抜萃
			菅谷 博	『つながる喜び-農的くらしとコミュニティ』空閑他著
			金 美栄	図書紹介
			井上明子	ろばのせなか
183	2010	3	神鷹徳治	私の目線(45)外国語としての漢字
			賈 晶淳	現在・与えられた機会・ルカ13:1-9
			雨宮道子	百人町教会冬季集会を終え(第26回合同修養会改称)
			小池健治	砂川市有地神社違憲判決—最高裁大法廷
			孫 準禧	私の一年、またね
			裊 宣恵	図書紹介『わたしの居場所はどこ?』
			空閑厚樹	ろばのせなか
				おさそい 前中榮子、日本の歌をうたう
184	2010	6	木村真理子	私の目線(46)リカヴァリ指向の精神医療ケアシステム
			賈 晶淳	聖書というタペストリー・コリント I 11:17-22
			浅井靖子	再び生きる力を
			高島紗綾	受洗者の言葉 気がつけば受洗
			空閑 幸	同 私のスタンダード
			横田れい子	信じること
			坂百合子	図書紹介『私が生きた「昭和」』澤地久枝著
			榎本征子	ろばのせなか
185	2010	9	前中榮子	私の目線(47)こころの声・を求めて
			今村嗣夫	裁判員制度と人権を考える「裁くこと」の意味
			阿蘇旅人	百人町教会 II 世阿蘇旅人
			坂真理子	私と教会
			中田 博	図書紹介『シベリア狂詩曲』村瀬三郎著
			空閑 幸	ろばのせなか
			お知らせ	故阿蘇敏文牧師記念号・40周年記念小冊子発行予定
186	2010	10	石原ASO道子	私の目線(48)阿蘇敏文と。
			阿蘇敏文	涙をもって種を蒔く人々
			小池常隆	阿蘇敏文牧師のこと
			賈 晶淳	隅っこの石
			浅井靖子	解放への道—恩師・阿蘇敏文さんとの再びの出会い
			鄭 救恩	ホンシが好きですか
			伊藤里枝子	人と人をつなぐ JFCネットワーク
			仁藤夢乃	最初で最後の手紙

号	年	月	執筆者	題
			中嶋哲演 セサール 吉田カナコ 菅谷 博 空閑厚樹 編集委員会	「一粒のからし種」から一反原発運動を共にして 百人町教会を人々のところに 阿蘇先生へ 阿蘇先生が農業を始められたころ 「阿蘇さんが語ること」の力の理由 本号は故阿蘇敏文牧師記念号です
187	2010	12	笹淵昭平 木田献一 賈 晶淳 小島悦子 空閑厚樹 雨宮道子 横田・金明洙	私の目線(49)戦中戦後の風景 40周年記念礼拝証詞 人間の時間と神の時間 百人町教会の原点 ヘブライ人への手紙3:7-15 みんなで創りあげた百人町教会創立40周年記念会 新しく加わった「百人町教会の風景」 図書紹介『教会“百人町”の風景』 ろばのせなか
188	2011	3	金井美彦 賈 晶淳 横田幸子 岩井 要 小島 森三代子 榎本征子 古野明美	忘却に抗う 白虹日を貫けり・ヨハネによる福音書12:44-50 飛田雄一『教会“百人町”の風景』の眺め 岩井健作、戸村義弘、高月三世子、関田寛雄 猪口由紀子、木村真理子、外山真理、青木恵美子 上林順一郎、松浦基之、野呂幸子、小泉庸子、菅谷頼子 礼拝の中で 40周年エピソード集より「百人町教会のはじまり」 「ガリ版刷りの週報」「大久保集会に出会って」 図書紹介『知ってほしいアフガニスタン』 ろばのせなか
189	2011	6	久保祐輔 金井美彦 和久井輝夫 北村恵子 榎本征子 賈 晶淳 新谷・榎本	私の目線(51)便利なこと 「村」の外に立つ・マタイによる福音書24:36-44 石が叫ぶ・ルカによる福音書19:37-40 祝福された旅立ち 報告百人町教会春季集会・2010年度百人町教会総会 図書紹介『放射能で首都圏消滅』古長谷稔著 ろばのせなか
190	2011	9	空閑 幸 賈 晶淳 佐藤忠彦 佐藤かよ子 長瀬アガリン 小島悦子 金井美彦 横田・古野	私の目線(52)最期のときを考える ヨハネとイエスー開かれた信仰・マルコ2:18-20 命の道と杖 私が歩んだ道 日本で暮らすフィリピン人とKAFINの活動 子ども達からパワーをもらってーCS集會報告 図書紹介『動的平衡ー生命はなぜそこに宿るのか』 ろばのせなか
191	2011	12	崔 恵英 関田寛雄 賈 晶淳 笹淵昭平 小池常隆 菅谷 博 金 明洙 金井・新谷	私の目線(53)イエス様がいないクリスマス 傷だらけの復活ー新しき命 ヨハネ福音書20:19-22 第三の誘惑 出エジプト記32:15-24 岩井要さんを偲ぶ 岩井要氏のこと ソウルで韓国語を学ぶ 図書紹介『資本主義に徳はあるか』アンドレ・コント=スポンゲイル著 ろばのせなか
192	2012	3	上田美鈴 佐藤 研 久保祐輔 坂百合子 小池恵・榎本	私の目線(54)大きなものに護られて 大惨事を前に、「神信仰」は可能か 今年度後半の活動-写真を中心に、韓国ソウル訪問 CSクリスマス会、東北被災地を訪ねる旅、冬季集会 「慣れ」と「自信」 図書紹介『日本紀行』イザベラ・バード著 ろばのせなか
193	2012	6	金井光代	私の目線(55)行事に込めた祈り

号	年	月	執筆者	題
			賈 晶淳 小井沼眞樹子 鈴木軍司 菅谷 博	改革への遺産・アモス書4:4-5, 5:4-5 東北伯(ノラ ^ス フ)で出会った主イエス ガンと私 2011年度総会報告 新しい交わりに感謝
194	2012	9	横田れい子 横田・古野 佐藤忠彦 金井美彦 小池健治 賈 晶淳 阿蘇 僚 堀口由奈 堀口好成 小池佐枝子 菅谷・阿蘇 権田一正 小池常隆 新谷・小池恵	森三代子さんの心の奥・・・阿蘇道子、前中、斉藤 『失われた物語をもとめて』レイテル・ナミ・リーマン著 ろばのせなか 私の目線(56)インド旅行 声としての神・申命記4:5-14 憲法「改正」問題の現況とその危険性 1ヶ月間の牧師休暇 日韓青少年合同修養会に参加して 喜びを共に、悲しみを共に 日韓青少年合同修養会に参加して 百人町教会夏季CS集会報告 ASOハウスについて 映画『道』—白磁の人 図書紹介『路上の信仰』朴炯圭著 ろばのせなか
195	2012	12	木村和基 賈 晶淳 金井美彦 空閑厚樹 木村真理子 横田れい子 坂百合子 榎本・空閑厚	私の目線(57)ペンギンウェイ 管理人・ルカ16:1-13 孤立の道と共存の道 マタイ5:43-48 日比委員会被災地支援活動報告 日本在住外国人被災者支援とアートセラピー 津軽に斉藤留美子さんを訪ねて 図書紹介『辛酸』城山三郎著 ろばのせなか
196	2013	3	斉藤留美子 賈 晶淳 マッキントッシュ 空閑厚樹 前中榮子 金井美彦 横田・小池常	私の目線(59)心の変化 何を求めているのか・ヨハネ1:35-42 招きの声・ミカ6:8 「若手」集会報告 終楽章 図書紹介『山本秀煌とその時代』岡部一興著 ろばのせなか
197	2013	6	泉谷五十鈴 賈 晶淳 笹淵昭平 金井美彦 今村嗣夫 長谷川まつ子 新谷照子 カストレーゼ 小池常隆	私の目線(59)平和への祈り 預言者の後ろ姿 エレミヤ20:7-9 木田献一さんと共に生きた日々 木田先生を偲ぶ 故木田献一先生略歴 自民党改憲草案のねらい—権力に従順な国民の育成 受難週家庭集会に出席して 2012年度定期総会報告 カット・コムニズモ ヨハネ黙示録13:1-18 図書紹介『抱腹! イタリアン・ジョウク』赤尾泰子&C・カッチャ ^o 朽 ^o 共著 『白氏文集は(もんじゅう)か(ぶんじゅう)か』神鷹
198	2013	9	古野・新谷 高島紗綾 賈 晶淳 上村 静 堀口由奈 山崎麻里子 金井光代 空閑 幸	ろばのせなか 私の目線(60)三五歳 エリヤ、鳥とやもめに護られる・列王記17:1-16 こどものように一神の国と生かされて在るいのち 濟州島の夏 お知らせ おら、エマオさ行くだ 夏のCSキャンプ 図書紹介『未来の働き方を考えよう』ちきりん著

号	年	月	執筆者	題
199	2013	12	空閑幸・小池恵 金井瑞紀 賈晶 淳 佐藤 研 R.M. ポンゴス	ろばのせなか 私の目線(61)レオン 不法の秘密の力が既に働いている・テサⅡ2:1-12 「禅キリスト教」ということ・列王記19:11-12 困窮し抑圧された人々を支えること 教会の壁を越えた教会の使命—日本での活動報告 フィリピン台風被災者支援緊急募金のお願い 「季節の行事に込めた祈り」を学ぶ会 図書紹介『当事者主権』中西正司・上野千鶴子著
200	2014	3	日比宣教委員会 渡邊 恵 坂百合子 榎本・空閑厚 百人町教会 賈 晶淳 金井美彦 小池健治 小池常隆 篠原順子 委員一同	ろばのせなか 「2014百人町教会共同文書」 私たちの信仰告白・マルコ8:27-9:1 緊張のアドベント・エレミヤ9:1-8 特定秘密保護法とは—偽りの平和との斗い 仙台石巻への旅行記 遠藤周作著『侍』を読んで 図書紹介『道をひらく—内村鑑三のことば』鈴木範久著 ろばのせなか